

くるめ診療情報ネットワーク協議会
2019年度第4回運営委員会 式次第

日時 令和2年3月31日（火）19時

場所 久留米医師会館 研究室1

1. 開 会 の 辞

2. 報 告 事 項

- 1) 令和元年度日本医師会医療情報システム協議会について
- 2) アザレアネット掲載教科書の久留米市小学校での利用について
- 3) その他

3. 協 議 事 項

- 1) 令和2年度予算案について
- 2) 検査センター接続への補助金交付について
- 3) 調剤薬局でのアクセス権設定について
- 4) 福岡県在宅医療提供体制充実強化事業での運用について
- 5) その他

4. 閉 会 の 辞

アザレアネット参加医療機関及び登録患者数

◆情報閲覧施設合計(R2年3月1日現在)
246施設(病院63、診療所155、その他28)

◆登録患者数(R2年3月1日現在)
16,454人(聖マリア8,235、新古賀4,178、嶋田1,940、大学2,101)

1 情報開示施設 7

No.	施設名	所在地	No.	施設名	所在地
1	聖マリア病院	久留米市	5	新古賀クリニック	久留米市
2	聖マリアヘルスケアセンター	久留米市	6	嶋田病院	小郡市
3	新古賀病院	久留米市	7	久留米大学病院	久留米市
4	古賀病院21	久留米市			

2 閲覧施設(病院) 17

No.	施設名	所在地	No.	施設名	所在地
1	久留米リハビリテーション病院	久留米市	10	くるめ病院	久留米市
2	高良台リハビリテーション病院	久留米市	11	柳川病院	柳川市
3	内藤病院	久留米市	12	田主丸中央病院	久留米市
4	安本病院	久留米市	13	聖ルチア病院	久留米市
5	丸山病院	小郡市	14	高木病院	大川市
6	ヨコクラ病院	みやま市	15	富田病院	久留米市
7	長田病院	柳川市	16	福田病院	大川市
8	日高整形外科病院	久留米市	17	花畑病院	久留米市
9	神代病院	久留米市	18		

3 閲覧施設(診療所) 65

No.	施設名	所在地	No.	施設名	所在地
1	やまもとハートクリニック	久留米市	34	なご整形外科	久留米市
2	よしかいクリニック	久留米市	35	藤吉内科消化器科医院	久留米市
3	田中内科クリニック	久留米市	36	はかたみち耳鼻咽喉科	久留米市
4	本間内科循環器内科	久留米市	37	稲田内科クリニック	久留米市
5	つむら診療所	久留米市	38	きずなクリニック	久留米市
6	赤司内科医院	久留米市	39	薬師寺内科医院	久留米市
7	やの医院	久留米市	40	筒井医院	久留米市
8	植田泌尿器科医院	久留米市	41	萬年内科	久留米市
9	木下医院	久留米市	42	姉川脳神経外科	久留米市
10	田山メディカルクリニック	久留米市	43	竹田津医院	久留米市
11	三橋耳鼻咽喉科クリニック	久留米市	44	いのくち医院	久留米市
12	大善寺医院	久留米市	45	ピーエスクリニック	福岡市
13	田中内科医院	久留米市	46	秋吉内科	久留米市
14	田中まさはるクリニック	久留米市	47	まつもと医院	久留米市
15	石田医院	久留米市	48	徳安医院	久留米市
16	いしばし循環器内科	久留米市	49	古川医院	小郡市
17	ひやまクリニック呼吸器内科	小郡市	50	西原内科医院	小郡市
18	権藤内科循環器科	小郡市	51	野原内科循環器科医院	久留米市
19	RINDENクリニック	小郡市	52	北里医院	久留米市
20	いけだクリニック	小郡市	53	井上内科医院	久留米市
21	河原内科クリニック	小郡市	54	ひだか子どもクリニック	久留米市
22	富安医院	小郡市	55	岡田脳神経外科医院	久留米市
23	やなぎ医院	大刀洗町	56	酒井小児科内科医院	大川市
24	大刀洗診療所	大刀洗町	57	まさ乳腺クリニック	久留米市
25	どい内科クリニック	筑紫野市	58	安達医院	久留米市
26	ひろつおなかクリニック	久留米市	59	福井レディースクリニック	久留米市
27	足達消化器科整形外科医院	大川市	60	宮の陣眼科	久留米市
28	宮崎クリニック	久留米市	61	実吉眼科医院	久留米市
29	松本医院	大木町	62	龍眼科医院	柳川市

No.	施設名	所在地	No.	施設名	所在地
30	えさき小児科・内科医院	大木町	63	池田眼科クリニック	久留米市
31	内科・小児科 西村医院	久留米市	64	杉田眼科医院	久留米市
32	池尻医院	久留米市	65	橋本眼科医院	小都市
33	松浦整形外科医院	久留米市	66		

4 閲覧施設(その他) 6

No.	施設名	所在地	No.	施設名	所在地
1	ハートフルシマダ訪問看護ステーション	小都市	4	まんまる薬局	久留米市
2	そうごう薬局小郡駅前店	小都市	5	高木歯科医院	久留米市
3	あおぞら薬局	久留米市	6	ひだまり薬局	久留米市

5 閲覧施設(ピカピカリンク情報開示施設) 9

No.	施設名	所在地	No.	施設名	所在地
1	今村病院	鳥栖市	6	東佐賀病院	みやき町
2	佐賀中部病院	佐賀市	7	佐賀大学医学部付属病院	佐賀市
3	伊万里有田共立病院	有田町	8	日本赤十字社唐津赤十字病院	唐津市
4	白石共立病院	白石町	9	国立病院機構佐賀病院	佐賀市
5	佐賀県医療センター好生館	佐賀市	10		

6 閲覧施設(ピカピカリンク閲覧施設) 97

No.	施設名	所在地	No.	施設名	所在地
1	啓心会病院	鳥栖市	50	百武整形外科病院・スポーツクリニック	佐賀市
2	せとじまクリニック	鳥栖市	51	中山内科クリニック	佐賀市
3	江口病院	小城市	52	上村病院	兵庫町
4	古賀内科	神崎市	53	福田脳神経外科病院	佐賀市
5	いのくち医院	みやき町	54	ニコクリニック	武雄市
6	夢咲クリニック	佐賀市	55	ひらまつクリニック	小城市
7	しげた総合診療クリニック	佐賀市	56	佐賀リハビリテーション病院	佐賀市
8	森永胃腸科医院	唐津市	57	なゆたの森病院	佐賀市
9	志田内科	佐賀市	58	二宮内科医院	佐賀市
10	長生堂 渡辺医院	唐津市	59	小野病院	佐賀市
11	ひかり医院	鳥栖市	60	やさか内科皮膚科	佐賀市
12	平井内科	上峰町	61	別府整形外科	鹿島市
13	まごころ医療館	鳥栖市	62	森永整形外科医院	佐賀市
14	すむのさと高尾病院	鳥栖市	63	口石やすひろ整形外科クリニック	有田町
15	はらだ内科胃腸科	鳥栖市	64	かわぞえ内科クリニック	白石町
16	三樹病院	上峰町	65	じんの内医院	佐賀市
17	薬師寺医院	鹿島市	66	枝國医院	佐賀市
18	古賀内科医院	鳥栖市	67	池田内科	嬉野市
19	和田内科循環器科	鳥栖市	68	持田病院	武雄市
20	多久市立病院	多久市	69	ひろおか内科・脳神経クリニック	小城市
21	藤松内科医院	唐津市	70	みきクリニック	みやき町
22	永岡眼科医院	上峰町	71	古賀内科医院	武雄市
23	すこやか女性クリニック	佐賀市	72	太田小児科内科医院	武雄市
24	みねこ皮膚科クリニック	吉野ヶ里町	73	目達原整形外科	吉野ヶ里町
25	かわらハートクリニック	鳥栖市	74	志田病院	鹿島市
26	神埼病院	神崎市	75	産婦人科 なかなみクリニック	佐賀市
27	森外科医院	白石町	76	境野病院	佐賀市
28	西田病院	伊万里市	77	たじり内科・小児科	佐賀市
29	陣内胃腸科内科医院	佐賀市	78	森山胃腸科	佐賀市
30	斉藤医院	佐賀市	79	白水レディースクリニック	鳥栖市
31	福岡病院	佐賀市	80	山口内科クリニック	佐賀市
32	中尾医院	佐賀市	81	平川医院	みやき町
33	りゅう整形外科	多久市	82	みね内科循環器科クリニック	佐賀市
34	飯盛内科	佐賀市	83	永田天寿堂医院	佐賀市

No.	施設名	所在地	No.	施設名	所在地
35	正島脳神経外科病院	佐賀市	84	神野病院	佐賀市
36	牧野医院	佐賀市	85	あじさいクリニック乳腺外科	佐賀市
37	南医院	神崎市	86	ゆたか内科消化器科クリニック	佐賀市
38	こやなぎ内科循環器科クリニック	鳥栖市	87	鶴田整形外科	小城市
39	こやなぎ内科クリニック	佐賀市	88	鶴田運動機能回復クリニック	小城市
40	諸隈病院	佐賀市	89	肥前精神医療センター	吉野ヶ里町
41	ひらまつ病院	小城市	90	佐賀中部保健福祉事務所	佐賀市
42	信愛整形外科医院	佐賀市	91	コールメディカルクリニック佐賀	佐賀市
43	宮原内科	佐賀市	92	うえきクリニック	上峰町
44	小柳記念病院	佐賀市	93	東与賀大塚医院	佐賀市
45	小池病院	佐賀市	94	たけうち小児科	神埼町
46	早津江病院	佐賀市	95	古賀クリニック	佐賀市
47	和田記念病院	神崎市	96	島田病院	佐賀市
48	古賀小児科内科病院	江北町	97	島田医院	佐賀市
49	庄野真由美レディースクリニック	佐賀市	98		

※ 閲覧施設(ピカピカリンクその他) 22

1	神代薬局 若宮店	佐賀市	12	神代薬局 大和店	佐賀市
2	神代薬局 松原店	佐賀市	13	神代薬局 嘉瀬店	佐賀市
3	えぐち薬局	佐賀市	14	坂本健康堂薬局	白石町
4	鳥栖三養基薬剤師会会営薬局	みやき町	15	わたや薬局	鳥栖市
5	神代薬局 セリオ牛津店	小城市	16	東町わたや薬局	鳥栖市
6	神代薬局 黒川店	佐賀市	17	ひろ歯科クリニック	佐賀市
7	神代薬局 本庄店	佐賀市	18	ふかや歯科医院	鳥栖市
8	神代薬局 木原店	佐賀市	19	エイト歯科クリニック	吉野ヶ里町
9	神代薬局 枳小路店	佐賀市	20	溝上薬局 けやき台店	基山町
10	神代薬局 神野東店	佐賀市	21	神代薬局 八田店	佐賀市
11	神代薬局 北部バイパス店	佐賀市	22	三和薬局	伊万里市

7 閲覧施設(八女筑後情報開示施設) 5

No.	施設名	所在地	No.	施設名	所在地
1	公立八女総合病院	八女市	4	馬場病院	広川町
2	筑後市立病院	筑後市	5	柳病院	八女市
3	川崎病院	八女市	6		

8 閲覧施設(八女筑後閲覧施設) 25

No.	施設名	所在地	No.	施設名	所在地
1	八女リハビリ病院	八女市	14	中村内科医院	八女市
2	つつみ脳神経外科クリニック	筑後市	15	草場内科循環器科医院	八女市
3	蒲池医院	広川町	16	石井内科医院	筑後市
4	安田クリニック	筑後市	17	おおうち内科クリニック	筑後市
5	平井医院	筑後市	18	八媛病院	八女市
6	城戸医院	八女市	19	加藤田整形外科医院	筑後市
7	ひらき医院	筑後市	20	胃腸科外科 大内医院	八女市
8	おおた胃腸科Sクリニック	筑後市	21	牛島医院	筑後市
9	久英会クリニック	広川町	22	横田病院	広川町
10	広川病院	広川町	23	姫野病院	広川町
11	植田病院	筑後市	24	ひろかわ腎クリニック	広川町
12	永田医院	筑後市	25	長崎眼科クリニック	八女市
13	合原医院	広川町	26		

令和2年度くるめ診療情報ネットワーク協議会予算書（案）

令和2年4月1日～令和3年3月31日

【歳入】

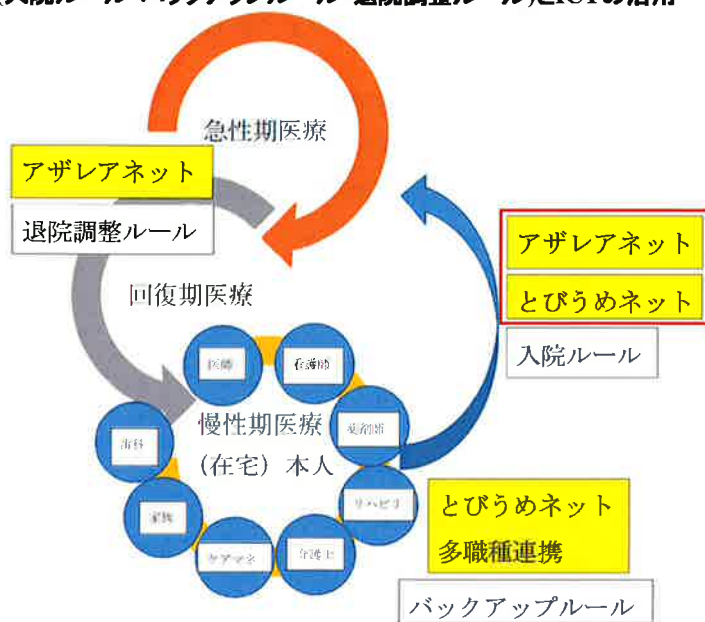
単位：円

費 目		2年度予算額	1年度予算額	増 減	備 考
負担金	開示施設	720,000	720,000	0	180,000円×4施設
	医師会	203,000	203,000	0	500円×A会員数(406)
	その他	20,000	20,000	0	5,000円×3施設,1,000円×2施設,3,000円×1施設
久留米市補助金		900,000	900,000	0	
雑 収 入		831	918	△ 87	預金利息ほか
繰 越 金		260,169	222,082	38,087	
合 計		2,104,000	2,066,000	38,000	

【歳出】

費 目		2年度予算額	1年度予算額	増 減	備 考
会 議 費	食糧費	7,000	7,000	0	理事会、運営委員会
	費用弁償	114,000	114,000	0	理事会、運営委員会
	使用料及び賃借料	25,000	25,000	0	理事会、運営委員会
事務局費	人件費	890,000	890,000	0	事務局人件費等
	旅費	10,000	10,000	0	出張旅費
	消耗品費	14,000	14,000	0	
	通信運搬費	35,000	35,000	0	事務連絡等、メーリングリスト
	手数料	10,000	10,000	0	振込手数料
事 業 費 (普及促進費等)	報償費・費用弁償	30,000	30,000	0	体験講習会講師謝金
	消耗品費	10,000	10,000	0	コピー用紙等
	印刷製本費	200,000	200,000	0	アザレアネット通信発行(2回分)
	使用料及び賃借料	50,000	50,000	0	会場借上料
	委託料	350,000	350,000	0	初期設定・操作説明等業務(20件)ホームページ保守
調査研究費	旅費	224,000	224,000	0	講習会、セミナー参加
	消耗品費	12,000	12,000	0	講習会等テキスト購入代ほか
	負担金	5,000	5,000	0	地域医療福祉情報連携協議会参加負担金
基金積立	積立金	0	0	0	
予 備 費		118,000	80,000	38,000	
合 計		2,104,000	2,066,000	38,000	

各ルール(入院ルール・バックアップルール・退院調整ルール)とICTの活用



とびうめネットの特長と問題点

- 地域での「包括同意」と「とびうめカード」持参が前提
- かかりつけ医からの登録が前提
 - 多職種で登録し、KICS事務局が一括入力？
- 患者情報入力が面倒
 - とびうめでの入力を保留？
- チーム登録は県医事務局にて
- VPN接続による煩雑さ、非効率
 - とびうめポータルにアザレアアイコン追加



アザレアネットの今後の展開案

- ・ 救急モード(EMS機能)の運用開始
 - 当初は聖マリア病院と久留米大学病院間で試行
- ・ 最新情報の定時取得(開示病院で時期は異なる)
- ・ サマリビュー(検査結果と薬剤)
- ・ 開示病院での全患者属性登録と名寄せ
- ・ 調剤情報の取り込み
- ・ 検査センターとの接続
- ・ 開示病院の受診予約
- ・ 主治医意見書の授受・保管
- ・ ACP記録の共有
- ・ 災害時対策



調剤薬局を含めた情報共有のメリット

病院・診療所	● 検査結果を公開することで疑義照会を減らすことが出来る ● 一般名処方 → 実際の薬剤名がわかる(後発品の選択や変更など) ● 入院時の持参薬鑑別の一助になる(散剤や粉剤の確認も可能となる) ● 複数機関からの調剤内容を一元的に確認できる ● ノート機能によって保険薬局からのコメントを参照できる	④ ①
保険薬局	● 病院での診療・指導内容を参照した服薬指導ができる ● 診療内容を随時閲覧できるため、的確な疑義照会が出来る ● 過去の履歴(処方、検査など)を参照して、安全な調剤が可能となる ● 相互に情報を公開することで病院・薬局間の信頼関係が深まる ● ノート機能によって病院への情報伝達がスムーズに出来る	② ③
患者	● 薬やおくすり手帳を忘れても処方・調剤内容を確認してもらえる ● 複数の医療機関にかかっても処方・調剤情報を共有化してもらえる ● 自身による煩雑な情報収集が不要となる ● 重複投与のチェックが可能となるため安全性が高まる ● 救急時でも調剤内容を確認してもらえるための確な処置が受けられる	

※株式会社エムティーアイから提供 一部改変



くるめ診療情報ネットワーク協議会
2019年度第3回運営委員会 議事録

日 時：令和元年12月13日（金）19:00～20:00

場 所：久留米医師会館 研究室1

出席委員：石橋委員（大川三潯医師会）、植田委員（久留米医師会）、中野委員（新古賀病院）、荒木委員（聖マリア病院）、七種委員（久留米大学病院）、原委員（久留米市）

事務局：藤本（久留米医師会）、山田（久留米市）

1. 開 会 の 辞（植田委員）

2. 報 告 事 項

1) 第8回全国 ID-Link 研究会について（荒木委員）

- ・11月2日（土）、スターゲイトホテル関西エアポートにおいて開催された。
- ・参加者の荒木委員より、以下の4点について報告が寄せられた。
 - ①通信暗号化方式はセキュリティは高いが利便性に課題がある VPN から、利便性の高い TSL に移行が進んでいること。
 - ②多職種における連携方式についての報告では、ID-Link を使う地域、カナミックやメディカルケアステーション（MCS）など専門のシステムを使う地域があり、久留米市も同様にとびうめネットを使う。医療連携システムと多職種連携が別のシステムであっても、深刻に困るという話はないと感じている。
 - ③佐賀県のピカピカリンクが行っている名寄せ機能の開始について報告があったが、調剤薬局を絡めて救急で使うものだが、災害でも使えるということでの発表をされていた。名寄せ機能については、アザレア側でも情報収集をしてきたが、公の場での発表は今回が初めてであり、他の地域でも取り組みが始まるような状況である。
 - ④ID-Link（アザレアネット）が教科書に記載されることについては、荒木委員が報告した。住民向けの広報は重要であり、その一環としての教科書掲載である。報告の最後で採択の結果を示して、久留米市が採択されていないことに気づく人も多く、教科書採択の中立性のため働きかけができない説明をした。せっかくなので、教育の現場で使えないか検討していること報告した。
- ※この報告に関連して荒木委員より、久留米三師会での会合で、市長や市教委関係者と意見交換したおり、市長もアザレアネットは久留米市の宝と言ってくれたが、採択状況は知らないようだったこと、教材として使えないかということについては、予算があれば考えたいということであった。
- ※また荒木委員からは、教科書に掲載された記事を学校現場で使えないかということについて、著作権協会への照会で、著作権の許諾に要する費用は数万円とのことであったが、印刷費が高いことと、教科書出版社内部で議論があり、好感触は得られていないこと、運営委員会の次週に教科書出版社から説明があるので、後日報告することとの説明があった。
- ・関連して七種委員より、多職種連携について記録者のリテラシーが異なり、フィルタリングを経た後の記録の在り方について、様々なセッションでも共通して議論になっており、最も多かったという報告があり、さらに荒木委員からは、特に介護系の職員におけるセキュリティへの感覚の違いについて現場の課題であるとの発言があった。

2) 八女筑後医療情報ネットワーク講演会について（荒木委員）

- ・救急モードについて八女筑後医療情報ネットワークに情報提供したところ、とびうめネットとの組み合わせ方などにも興味を持たれたので、12月9日（月）に、「久留米でのアザレアネットととびうめネットの今後の展開について～多職種連携と救急対応機能～」と題し、荒木委員より会員向けに、アザレアネットの現況等を含めて講演がなされた。
- ・八女筑後医療情報ネットワークは利用者が増えない、サーバーが未更新などの課題があるの

で、全国のシステムの状況や ID—Link が教科書に掲載されたことを話した。

- ・ ID—Link のサーバー更新は利用者が少ないと特例（2,000 人未満なら更新費 2 分の 1）があることも説明し、早期の更新を助言した。
- ・ 利用者拡大に最も大事なものは開示範囲の拡大であるが、八女筑後は開示範囲が非常に狭く、処方・検査・画像などでレポートやサマリーは開示されていないため、開示範囲拡大を助言した。
- ・ さらに、ID—Link の最近の機能拡張も説明し（趣旨と内容は協議事項にて詳述）、とびうめネットの試行状況と在宅医療強化事業の補助金によって iPad の配付を行っていることを説明した。

3) ID—Link を用いた名寄せ作業の進捗について（七種委員）

- ・ 配付資料に基づき、久留米大学が名寄せ作業のための準備を開始し、現在アップロードまで終了した旨の報告があった。
- ・ 作業環境としては、NEC がゲートウェイサーバーを設置して作業するが、その立ち上げに際して、ID—Link に影響が出たことの説明がなされた。
- ・ その影響については資料 2 枚目で説明があり、久留米大学病院では全患者の属性情報がわかるが、参照権限を持たない他の医療機関（今回は聖マリア病院）からは、アスタリスクで情報がマスキングされた大量の患者リストとして画面表示されたというものであった。
- ・ ID—Link の仕様として想定されていたものだが、説明が不足したまま環境構築した結果、ご心配をおかけしたとの説明があった。
- ・ アップロードは終了しており、検証してから名寄せは 2 月以降を想定しているとのこと。
- ・ この件に関し、荒木委員から、そもそも名寄せ機能が必要とされるに至った経過の説明（属性登録から始めたこと、複数医療機関受診時の参照権限のこと、重複登録を認めない前提のシステム構築など）や、SEC の対応として 1 月末頃には患者個人情報検索にカナ氏名が入るので今後はこのような事象が起きないと思われること、聖マリア病院でも全患者の属性登録の時期はその先になることなどの説明があった。
- ・ 七種委員からは、名寄せにおける類似度の割合に応じて目視確認件数の違いの説明があり、類似度 40%から 50%であれば数百件程度の目視確認でできるとの説明、さらに久留米大学病院と久留米大学医療センターの ID 付番方式の説明と、付番方式が両院で異なり重複することがないこと、両院を受診した患者は久留米大学病院の ID に統一することの説明があった。

4) その他

3. 協 議 事 項

1) 最新情報の定時取得機能の導入について（荒木委員）

- ・ SS-MIX のサーバーを使わなくても最新情報を定時取得ができることがわかり、NEC と CSI の電子カルテを使っているところも取得ができる。久留米大学病院も新古賀病院もできそうなので、導入するという方向で承認された。
- ・ ただ、嶋田病院については、どの電子カルテを利用しているかの確認をしてほしいと要請があった。

2) サマリービュー機能の導入について（荒木委員）

- ・ 検査結果や投薬状況等を時系列で見ることができるサマリービュー機能については、以前導入を検討したが、標準コードマッピングを行う必要があり、その手間が壁となって導入していなかったが、現在は検査の標準コードが JAC10 になり、函館地域（道南 MedIka）から提供されるサンプルを利用することで手間がかからなくなっていることが判明したため、導入を進めていきたいと提案された。
- ・ 薬剤のコードマッピングは H0T コードのマッピングを聖マリア病院の薬剤部の協力を得て設定することになるが、荒木委員が他の開示病院に情報提供するので、お願いしたいとの提案

があり、マッピングを行う方向で承認された。

3) 救急モードの運用について（荒木委員）

- ・救急モードのトライアルの準備中だが、救急でも同意書の取得が前提と考えていたが、佐賀県ピカピカリンクの資料を確認したところ、同意書の取得ができないことも想定した記載があった。ピカピカリンクの事務局からは、救急時は大変なので、同意書の取得ができないことを想定して取り扱いを考えたとの説明を受けた。
- ・実際に救急モードを運用してみないと、そのような想定が生じるかどうかはわからないので、アザレアネットとしては、最初は同意書を取得する前提でシンプルなマニュアルを作成して始めたい、との提案があり、承認された。

4) 圏域超え連携ユニオンへの開示病院参加について（荒木委員）

- ・事の発端は、小郡三井医師会の田中医院より、鳥栖市の今村病院へ開示を求めたができないため、その原因を調べたところからであった。
- ・アザレアネットは医療機関間で個別に連携登録が必要となっているが、ピカピカリンクはデフォルトでユニオン内の全施設との間で連携登録していることが分かり、今村病院スタッフが連携登録操作が必要であることを知らなかったのが原因と思われた（後日の調査では実際は連携登録は行われており、今村病院スタッフの勘違いであった）。
- ・SEC 社に問い合わせたところ、現在ではピカピカ方式が主流であり、運用上、画面操作上も支障が生じないように改良されているとのことであり、これを機にピカピカ方式（全施設間連携登録をデフォルトとする）への変更が提案された。
- ・もう1つの課題として、圏域超えの連携は相手先ユニオンへの参加を各施設が個別に申請する方式としているため、複数のユニオンに登録している施設が多数あるものの、アザレア側の開示病院はピカピカに登録されていないため、連携出来ないケースが生じ、ピカピカ側がアザレアユニオンに参加するケースが時々見られる。
- ・これへの対応として、
 - ①アザレアの開示病院をピカピカのユニオンに登録することで、ピカピカ側の負担を軽減したい。
 - ②アザレアネットも今後、ピカピカと同様に全患者の属性連携登録をしたい。名寄せ操作はピカピカ側で請け負ってくれる話になっており、併せて、八女筑後にも同様の取り扱いとしてはどうかと提案したい。
 - ③この手続きには、本来は NEC にあてて各開示病院が個別に申請する必要があるが、事務の煩雑を避けるため、アザレアネットとしてまとめて一括で手続きをしたい。
 - ④NEC から、まとめて作業することに異議はないが各協議会でそれぞれ了承した旨の確認を作業の前提としたいと依頼あったので、荒木委員が各協議会にあてて CC 先を NEC とするメールを送信し、その返答をもって各協議会の確認として NEC に回答し手続きを進めたい、との提案があった。
- ・これに対して、七種委員から、連携に係る経費の有無について質問があったが、荒木委員より、連携に係る経費は各医療機関の負担は要しないと、あらかじめ連携時の覚書に記載しているとの回答があり、承認された。

5) 開示病院での事前同意書取得運用について（荒木委員）

- ・開示病院から退院して、かつて診療を受けていたクリニックに帰る際、当該クリニックの方で同意書を取るのが通常であるが、大川三潁医師会の酒井会長より、佐賀県ピカピカリンクでは予め病院の方で同意書を取得してくれるので、同じようにしてもらいたい旨の要望があった。聖マリア病院では閲覧病院が転院先の場合はクラークが同意書を取得しているが、閲覧クリニックへ帰る場合も同意書を取得することとした。マンパワーは要るが、他の開示病院でも検討課題とすることとなった。

6) その他

- ①アザレアネット講演会について（荒木委員）

クリニックはスタッフの支援を受けることで、医師の負担を軽減する運用が可能であるため、3月ぐらいに、クリニックの先生及びスタッフを対象にアザレアネットの講演会を開催することが提案されて、承認された。

4. 閉 会 の 辞